

■ 現地を歩いての感想 ■

(「現地を歩く会」2014.1.26 ; 23名からの感想)



- 1.工事を中止し（現況のまま）環境教育（藤前干潟の例がある）のスペースや市民のいこいの場に活用する方向で運動を進めて欲しい。(T.Y)
- 2.あるいてますます中止しかない いまも思う (H.Y)
- 3.数年前と比較して部分的にはかなり整備されている立ち枯れの木が目立つようになった。(K.W)
- 4.森林火災は昭和 24 年に発生したということ聞きました。火災対策は工事を止めても進めてもらうということで良いと思います。(K)
- 5.すばらしい
- 6.山の広さを実感しました。道路工事で分断され今までオアシスの森あたりしか散策できませんでしたので随分もったいないと思いました。出身は名古屋市ですがこの地域には昨年8月に越してきました。緑の豊かなこの場所に魅かれたからです。20 年程前から東京、海外と引越しを重ね色々な場所に住んできましたがこの自然の豊かさはおそらく一番だと思います。名古屋市内にこんな場所が残っているのは奇蹟だと思います。(M.E)
- 7.町中にこんな自然が残されていいなと思います。
- 8.道路建設の方の話はききたくない。(T.O)
- 9.こんな自然の中に車を通すための道路を作るなんて許せません。今では市内唯一の自然の緑地といえますね。ずっとこのまま残していきたいです (T.F)
- 10.予定地に足を初めてふみ入れて、環境に配慮した道路ということで、シェルターの部分のみでいいわけ程度のことにびっくり、歩いてよかった (T.F)
- 11.あらためて相生山に道路をつくらせてはならないと思いました。(M.S)
- 12.あらためて、この山は残したいと
- 13.こんな所が名古屋市内にもあったのかと田舎の原風景を思い出しました。
自然は一旦こわせば、元に戻りません現在を残すことこそ将来にいきます。
- 14.山は静かで緑豊かでとても好きな場所です。(H.K)
- 15.建設のとまっている道路は、山の中にひっそりと佇んでいてとても不思議な空気でした。(もし建設が中止になったら、道路はそのまま残して「人々が山を守ったシンボル」のような場所として存在しても面白いなと思います。)(J.I)
- 16.初めての参加でした。緑地があることは知っていましたが、道路が出来ることは知りませんでした。その理由は 23 年間も転勤、転勤で名古屋を留守にしていたからです。2 年前にリタイヤし名古屋に帰ってきましたが、天白区も緑区も緑地や(里山)

が少なくなっているのにはおどろきました。東京は人口も多いですが緑地も多いです。「東京にこんなところがあるの」と思うところがあちらこちらにあります。今回参加して理屈ではありません「せっかく残した緑地になぜ道路を作り里山を分断するの」です。利便性を求め生態系をこわすことは人間社会そのものがこわれることです。元にもどすべきです。我々はまわり道や無だの中で成長、発達してきたのです大変な無だですが人間社会を守るため投資・授業料と考えればいいのでは。(T. T)

- 17.今の相生山の森には椎の幼樹が点在しています。これは将来立派な森になる証です。相生山の森は小さいですが大切な自然の森です、是非このまま未来へ送って頂きたい。(K. W)
- 18.環境に配慮した道路ということで作ろうとしているようだが、下山畑の方から入るシェルターの上のみ 100mくらい盛り土をして木を生やしていて、いかにもという感じがする。しかし、あとの平面の部分は空が見え、空気はいい、気持ちいい。
・・・ということは、森が分断され、乾燥して、さらに車が走れば排気ガスは直接、森や人家へ流れていく。環境にいい道路だとは、とても言えないということが良くわかった。(T)
- 19.参加して、ますます、この道路は相生山の生き物や植物には良くないことが判明した。まだ出来てないところも、道路になれば、森の中に空間ができて同じようになってしまう。今まで出来てしまった所は、中止ということになったら、早くアスファルトだけでもはがして、土に返して欲しい。植物はすぐに生えてくるから。それが一番いいと感じた見学会でした。(I)
- 20.いろいろ勉強させて頂き、有難うございます。地元の参加者の中に「今まではここにホテルがいる事はできるだけ内緒にしていたのに、自然観察と唱って段々と山へ入る人達が増え、かえって要らぬ所まで道が出来たり、車が増えたり、山が荒らされていくように思われる」といった意見があったことに憂慮するものです。でも、何はともかくも、今、その自然がなくなってしまうのは、元に戻す事が不可能になります。既に企業優先(経済的利益優先の生活者)である＝自然で飯は食えない！と謂わざるを得ない大人達より、これから社会を担っていかなければならない子供達に、適切な教育者が【経済の前に命の大切さ】を説く自然教育がなされなければ、何ら変わっていかないのでは、と考えさせられました。(C)
- 21.～歩きながら人から聞いた感想と自分の感想です～ (M. K)
 - ・こんなに立派なものをよくも作ってしまったなあ！ 計画や着工などの時点で、後々のことや予想される状況の変化などをきちんと考えぬいていれば、こんなムダなものを作らずに済んだのに！！とあらためて残念。
 - ・マスコミも各社たくさん来ていた。なのに、普通に変だと思うことを、なぜ報道しないのだろうか？ 多くの人にはなかなか現地まで来られません。代わりに、事実や市民の率直な声をありのまま伝える義務があると思うのですが……。未来に後悔しても始まらない。責任を果たして欲しいと思います。
 - ・道路建設課の方の説明は、どれも中途半端で説得力に欠けた。全線はともかく着工区間が既定以下の距離だからアセスの対象外だとか、工事済みの所にホテルがいた

から環境への影響は少ないのではないかと、道理や科学とはおよそかけ離れた話ばかりだった。納得いくように聞きたかったが、時間が足らなかった。

22.8割がた出来ている、といわれているが、それは予算の8割使ったというだけで、道路は半分もできていないという感じがした。相生山の一番大事な部分にはまだ手が付けられていない。騒音や汚れた空気やゴミやコンクリートの塊を頭上に、自然の中を歩くなんて耐えがたいことだ。今なら、かろうじてまだ間に合う！思いを強くした。(F)

23.道路見学で、環境に配慮した、自然と調和する道路作りなんて無いんだと、はっきりしました。あの道路を環境に配慮したと平気に言える人達に対して、何を突きつければ伝わるのか。本当に難しいですね。(M)

